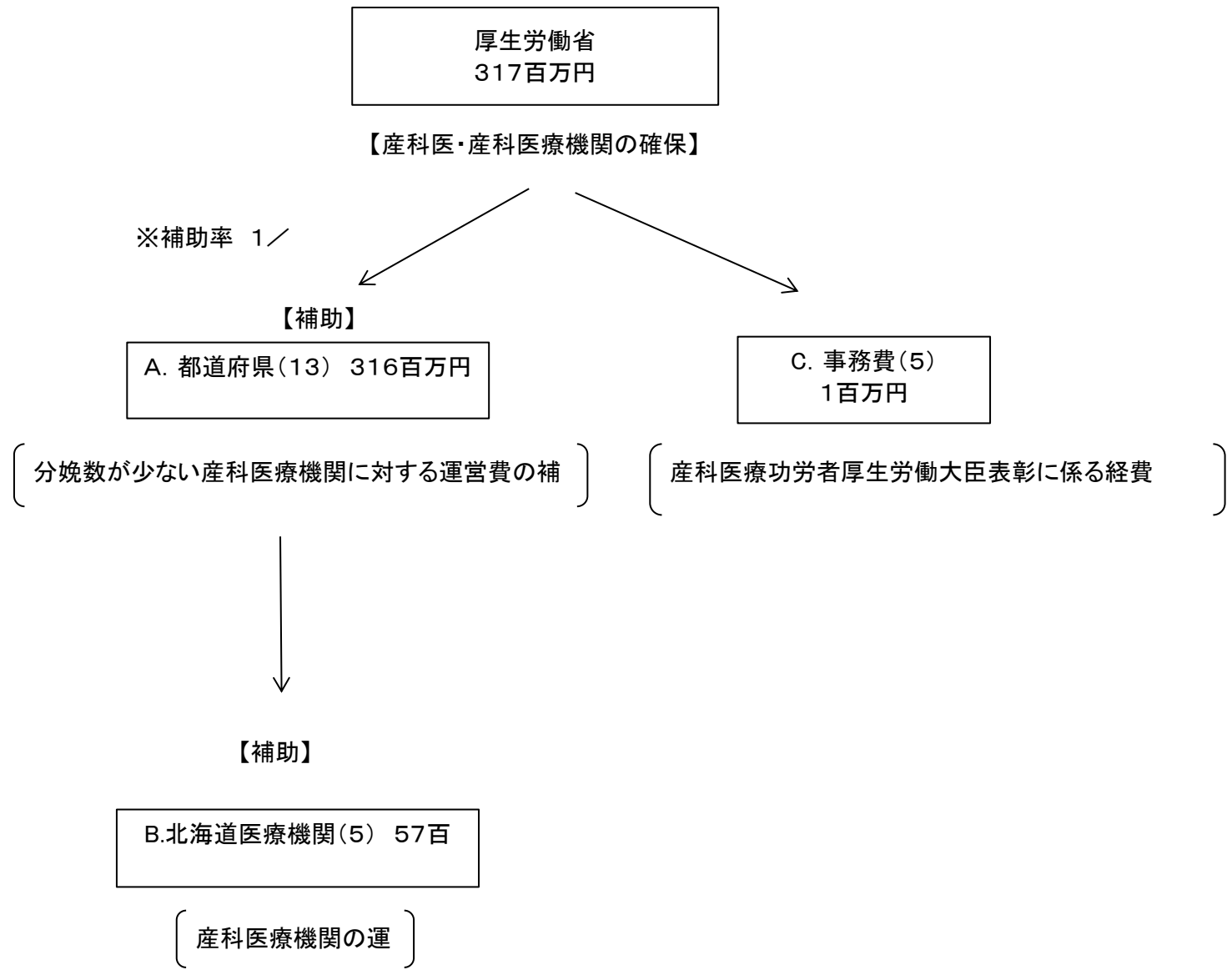


平成２４年行政事業レビューシート（厚生労働省）										
事業名		産科医・産科医療機関の確保			担当部局庁		医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定) 年度		平成20年度～			担当課室		指導課 救急・周産期医療等対策室		室長:佐久間 敦	
会計区分		一般会計			施策名		Ⅳ－１－１ 地域の医療連携体制を構築する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-			関係する計画、通知等		産科医療確保事業実施要綱			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		・分娩を行う医療機関が逡減している現状を踏まえて、病院の集約化が困難な地域において、分娩可能な産科医療機関を確保する観点から、一医療機関当たりの分娩件数が少ない産科医療機関に対して、経営の安定化を図るための財政支援を行う。 ・長年にわたり地域のお産を支え、産科医療の推進に貢献してきた産科医等に対して厚生労働大臣表彰を行い、功績をたたえ、功労に報いる。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)		・産科医療機関確保事業 一医療機関当たりの分娩件数が少ない産科医療機関に勤務する医療従事者の人件費に対する財政支援。 ・産科医療推進費 地域の産科医療の推進に貢献してきた産科医に対する厚生労働大臣表彰。								
実施方法		■直接実施 □委託・請負 ■補助 □負担 □交付 □貸付 □その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		予算 の 状 況	当初予算	739	325	325	325	325		
			補正予算							
			繰越し等							
			計	739	325	325	325	325		
		執行額		326	318	317				
		執行率（％）		44.1%	97.8%	97.5%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		妊産婦死亡率(出産10万対) (厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態調査」)			成果実績	人	4.8	4.1	集計中	-
					達成度	-	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		産科・産婦人科医数 (厚生労働省大臣官房統計情報部「医師・歯科医師・薬剤師調査」)			活動実績 (当初見込み)	人	-	10,652 (-)	- (-)	- (-)
単位当たりコスト		29,760円/人			算出根拠	23年度執行額／産科・産婦人科医数				
平成 24・ 25 年度 予算 内訳	費 目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	医療施設運営費等補助金		323	323						
	庁費		2	2						
計		325	325							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・一医療機関当たりの分娩数が少なく経営的に厳しい医療機関がある中、広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業である。 ・産科医療機関を確保していくためにも、引き続き国の施策として進めていくべきものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・必要最小限の補助基準額の設定を行っており、水準は妥当である。 ・交付要綱等において補助対象、補助率等を定めており、負担関係は妥当である。 ・地域の実情に応じて医療機関等の補助先を選定しており、合理的に支出されているものとする。 ・補助の対象となる医療機関等は分娩件数など一定の要件を課しており、使途は事業目的に即した真に必要なものに限定している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・成果実績から見て、他の手段と比較して実効性の高い手段であると言える。 ・成果実績である妊産婦死亡率は、着実に向上しており、今後も安心・安全な産科医療を確保するためにも、継続して事業を進めていく必要がある。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		分娩を取り扱う産科医が不足している現状から、地域のお産を支える産科医への補助は重要な課題であること。また、自然分娩については、診療報酬上の仕組みでは産科医への直接的な処遇改善に結びつかないことも踏まえ、引き続き財政支援を行う必要がある。	
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り		産科医・産科医療機関の確保については、一医療機関当たりの分娩件数が少ない産科医療機関に対して、経営の安定化を図るために財政支援等を行う事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）		
現状通り		本事業の趣旨を踏まえ、引き続き効率的な執行に努めたい。	
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	30	平成23年行政事業レビュー	0028

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)



費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロッ
クごとに最大の
金額が支出され
ている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.北海道			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
補助金	産科医療機関に対する補助	57			
計		57	計		0
B.八雲総合病院			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	医師、看護師等産科医療に係る人件費	11			
計		11	計		0
C.(株)天賞堂			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
消耗品	記念盾購入	0.6			
計		0.6	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道	産科医療機関の運営に対する補助	57		
2	秋田県	産科医療機関の運営に対する補助	46		
3	島根県	産科医療機関の運営に対する補助	34		
4	沖縄県	産科医療機関の運営に対する補助	22		
5	兵庫県	産科医療機関の運営に対する補助	22		
6	高知県	産科医療機関の運営に対する補助	22		
7	鹿児島県	産科医療機関の運営に対する補助	22		
8	東京都	産科医療機関の運営に対する補助	22		
9	長野県	産科医療機関の運営に対する補助	11		
10	三重県	産科医療機関の運営に対する補助	11		

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	八雲総合病院	産科医療機関の運営	11		
2	浦河赤十字病院	産科医療機関の運営	11		
3	富良野協会病院	産科医療機関の運営	11		
4	留萌市立病院	産科医療機関の運営	11		
5	市立稚内病院	産科医療機関の運営	11		

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)天賞堂	記念盾購入	0.6	随意契約	
2	(株)オオニシ	記念写真撮影代	0.1	随意契約	
3	大和総合印刷	表彰状の印刷・揮毫	0.1	随意契約	
4	(有限)ピースマイル	看板等借上	0.1	随意契約	
5	(株)ミクニ商会	紙筒等購入代	0.1	随意契約	